

病害虫発生予察情報

(1/2)
令和4年6月30日

令和4年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 7月予報

【水稻】

斑点米カメムシ類

岐阜・西濃地域及び東濃地域に設置した予察灯では、カスミカメムシ類の誘殺が6月以降増加しています。水稻の出穂直前および出穂後の畦畔除草は、本虫を水田内に追い込む恐れがあるため出穂10日前までに実施し、出穂期～穗揃期の間に使用する薬剤に合わせた適期防除を徹底してください。また粒剤はイネカメムシに対して出穂5～10日前の散布が、効果が高いです。

【果樹】

果樹カメムシ類

予察灯への誘殺数は、中濃地域では5月第4半旬より、岐阜・西濃地域では6月第4半旬より急激に増加しています。夜間の温度及び湿度が高く、風の弱い日は、活発に活動する傾向がありますので、飛来が認められる場合は直ちに防除を実施してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期（7月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水稻	生育(コシヒカリ)	並	<幼穂形成期>						・6/15調査(5/9田植:農業技術センター)
	葉いもち	並				<発生最盛期>			・葉いもち:箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。
	紋枯病	並		<初発生>					・紋枯病:前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。
	縞葉枯病	少				<発生最盛期>			・縞葉枯病:感受性品種では特に注意する。 R4保毒虫率0.1% (平年1.5%)
	ヒメトビウンカ	並	<第2世代幼虫>		<第2世代成虫>				・斑点米カメムシ類:カスミカメムシ類が優占する地域では出穂～穗揃期に防除を実施する。また、粒剤は商品により散布時期が異なるため注意する。
	セジロウンカ	並				<第1世代成虫>			
	斑点米カメムシ類	やや多						<本田侵入時>	
	防除適期		斑点米カメムシ類:穗揃期およびその7～10日後に防除を実施する。						
かき	生育(ハツシモ)	並							・田植6/10(農業技術センター)
	ハマキムシ類	やや多		<第2世代幼虫>					・幼虫発生初期の防除を徹底する。
	防除適期		▲ハマキムシ類(岐阜西濃・中濃)						
なし	黒星病	やや少							・幸水では、果実肥大期の7月上中旬頃に最も感受性が高まるため注意する。
	防除適期		～▲黒星病						
果樹	カメムシ類	やや多	<越冬世代・新世代成虫>						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。
	防除適期								
茶	生育(やぶきた:池田)	並							
	岐阜 ハマキムシ類	多		<第2世代幼虫>					・ハマキムシ類:発蛾最盛期から7～10日後の防除を徹底する。
	西濃 チヤノホソガ	多		<第2世代成虫>					・チヤノホソガ:発蛾最盛期と萌芽～展葉期が一致すると被害が発生するため、発蛾最盛期から10日後に防除を実施する。
	防除適期		▲ハマキムシ類 チヤノホソガ▲						
	生育(やぶきた:白川)	やや早	二番茶>						
	中濃 ハマキムシ類	やや多		<第2世代幼虫>					
	チヤノホソガ	やや多		<第2世代成虫>					
	防除適期		▲ハマキムシ類						

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 半旬	2 半旬	3 半旬	4 半旬	5 半旬	6 半旬	
野 菜 ・ 花 き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達を避けるため）。
	アザミウマ類	並							・灰色かび病：葉先枯れ、花ガラ、ガク枯れ等の枯死部位は発生源となるため取り除く。
	ハスモンヨトウ	並							・ハスモンヨトウ：発生初期の防除に努める。
	タバコガ類	並							・タバコガ類：若齢幼虫の防除を徹底する。
	ハダニ類	並							
防除適期			～▲灰色かび病						

注 1) ▲、▲～▲：防除適期

注 2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注 3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）によると、6月中旬以降、感染好適日が確認されています（表1参照）。感染好適日が連續すると、おおよそ5～10日後に病徵が確認され始めますので、ほ場での発生状況に十分注意して、適期防除を実施してください。

表1 2022年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件

病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西	海津	関ケ原	揖斐川	樽見根尾	美濃	八幡	長瀧白鳥	美濃加茂	黒川白川	多治見	中津川	恵那
6/ 7	●	—	—	—	—	—	◎	●	◎	—	—	—	◎	—	—
6/ 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/ 9	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—
6/11	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	◎	—
6/12	—	●	●	—	●	◎	●	△	◎	—	◎	—	△	△	—
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/14	●	●	●	—	●	△	—	—	—	◎	—	—	—	—	—
6/15	●	●	●	●	●	△	●	△	△	●	△	●	△	△	—
6/16	—	◎	—	◎	●	◎	—	○	◎	—	◎	—	—	—	—
6/17	—	—	—	—	—	△	—	△	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	—	—	—	●	—	●	—	●	—	●	●	—	—	—	—
6/23	●	—	—	—	●	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—
6/24	—	○	—	—	●	—	●	●	—	▲	—	●	—	—	—
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	▲	—	—	—
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

6月～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散が無いよう、十分に配慮してください。



いもち病（葉いもち）

凡例

△：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20°C未満）

▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25°C以上）

○：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25°Cの範囲外）

◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い）

●：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15°C～25°Cであり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25°Cの範囲にある）

—：好適条件、準好適条件は満たされなかった。

空欄：欠測値があるため判定不可能

東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 6月23日発表)

向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。降水量は平年並か少なく、日照時間は多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード